

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2021年5月25日から2031年9月22日まで	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスⅠ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスⅠ投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時（毎月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案し決定します。 なお、分配を行わない場合があります。	

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

シュローダー・ グローバル・リート ESGフォーカス・ファンド (予想分配金提示型)

運用報告書(全体版)

第47期 (決算日 2025年4月21日)
第48期 (決算日 2025年5月20日)
第49期 (決算日 2025年6月20日)
第50期 (決算日 2025年7月22日)
第51期 (決算日 2025年8月20日)
第52期 (決算日 2025年9月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(予想分配金提示型)」は、2025年9月22日に第52期の決算を行いました。

ここに、謹んで過去6ヵ月間の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額	
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率			
	円			円	%	百万円	
23期(2023年4月20日)	9,245			0	4.0	98.3	5,865
24期(2023年5月22日)	9,335			0	1.0	98.6	5,874
25期(2023年6月20日)	9,939			0	6.5	98.0	6,185
26期(2023年7月20日)	9,899			0	△0.4	98.0	6,110
27期(2023年8月21日)	9,664			0	△2.4	98.8	5,885
28期(2023年9月20日)	10,063			0	4.1	97.4	6,003
29期(2023年10月20日)	9,517			0	△5.4	98.1	5,638
30期(2023年11月20日)	9,998			0	5.1	98.7	5,883
31期(2023年12月20日)	10,535			0	5.4	97.0	6,100
32期(2024年1月22日)	10,535			50	0.5	98.5	5,926
33期(2024年2月20日)	10,727			50	2.3	98.5	5,894
34期(2024年3月21日)	10,818			50	1.3	97.9	5,793
35期(2024年4月22日)	10,499			0	△2.9	98.5	5,507
36期(2024年5月20日)	11,205			100	7.7	98.9	5,767
37期(2024年6月20日)	10,994			100	△1.0	99.0	5,580
38期(2024年7月22日)	11,422			100	4.8	99.2	5,635
39期(2024年8月20日)	10,782			50	△5.2	98.4	5,263
40期(2024年9月20日)	11,149			100	4.3	98.5	5,424
41期(2024年10月21日)	11,362			100	2.8	99.3	5,497
42期(2024年11月20日)	11,154			100	△1.0	99.4	5,356
43期(2024年12月20日)	10,747			100	△2.8	97.9	5,114
44期(2025年1月20日)	10,722			50	0.2	99.2	5,100
45期(2025年2月20日)	10,520			50	△1.4	98.9	4,962
46期(2025年3月21日)	10,220			0	△2.9	97.4	4,799
47期(2025年4月21日)	9,375			0	△8.3	97.4	4,357
48期(2025年5月20日)	10,118			0	7.9	98.9	4,687
49期(2025年6月20日)	10,266			0	1.5	98.0	4,682
50期(2025年7月22日)	10,396			0	1.3	98.3	4,713
51期(2025年8月20日)	10,460			0	0.6	98.4	4,676
52期(2025年9月22日)	10,757			50	3.3	98.5	4,725

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	
第47期	(期 首) 2025年 3月21日	円 10,220	% —	% 97.4
	3 月末	10,190	△0.3	98.3
	(期 末) 2025年 4月21日	9,375	△8.3	97.4
第48期	(期 首) 2025年 4月21日	9,375	—	97.4
	4 月末	9,724	3.7	98.1
	(期 末) 2025年 5月20日	10,118	7.9	98.9
第49期	(期 首) 2025年 5月20日	10,118	—	98.9
	5 月末	10,055	△0.6	98.1
	(期 末) 2025年 6月20日	10,266	1.5	98.0
第50期	(期 首) 2025年 6月20日	10,266	—	98.0
	6 月末	10,190	△0.7	98.2
	(期 末) 2025年 7月22日	10,396	1.3	98.3
第51期	(期 首) 2025年 7月22日	10,396	—	98.3
	7 月末	10,612	2.1	99.0
	(期 末) 2025年 8月20日	10,460	0.6	98.4
第52期	(期 首) 2025年 8月20日	10,460	—	98.4
	8 月末	10,634	1.7	98.6
	(期 末) 2025年 9月22日	10,807	3.3	98.5

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

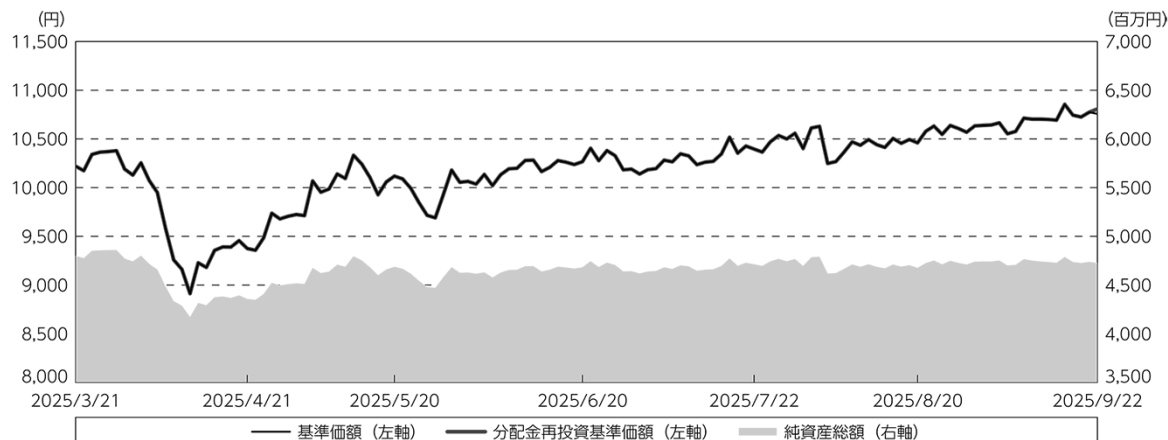
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2025年3月22日～2025年9月22日）

作成期間中の基準価額等の推移



第47期首：10,220円

第52期末：10,757円（既払分配金（税込み）：50円）

騰落率：5.7%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年3月21日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

当作成期首10,220円でスタートした基準価額は、10,757円（分配後）で当作成期末を迎え、当作成期首比5.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当作成期、ファンドのリターンはプラスとなりました。国別では、日本やフランス、香港等への配分が上昇要因となりました。セクター別では、ホテル・リゾートリートや各種不動産事業等への配分が上昇要因となった一方、電波塔リートや不動産開発などへの配分が下落要因となりました。

投資環境

当作成期、世界の不動産株式およびリート市場は、上昇しました。

2025年4月初旬には、トランプ米大統領が「解放の日」に相互関税を発表したことを受けて金融市場のボラティリティ（変動性）が大きく高まり下落する局面がありましたが、その後、同氏が報復措置を講じていない国・地域に対して相互関税の一時停止を発表したことで反発に転じました。5月には米国と中国が関税率一時大幅引き下げで合意したことも追い風となりました。その後も、米国と各国の貿易協議が進展する中、米国金融当局による利下げ期待（9月の会合で政策金利の引き下げを決定）等も支援材料となり、上昇基調を維持しました。米ドル円レートについては、相互関税の発表を受けて投資家のリスク選好姿勢が弱まり、4月は円高基調となりました。その後は、米国の関税政策を巡る不確実性が減退したことや一部の米国経済指標が市場予想を上回ったこと等から円安となる局面もありましたが、当作成期を通じては、円は対米ドルで上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンドにおいて、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI 投資証券の運用について

2025年3月、アジアでは、インゲニア・コミュニティーズ（集合住宅用リート）と大和ハウス（各種リート）の保有を削減し、グッドマン（工業用リート）と大和証券オフィス投資法人（オフィスリート）に入れ替えました。3月から4月にかけて、米国の店舗用リートでリージェンシー・センターズからリアルティ・インカムに資産を入れ替えました。そのほか、4月中には、米国やアジアでも、セクターのエクスポージャーを調整しました。5月、米国貸倉庫需要の回復の遅れから、キューブスマート（トランクルームリート）の保有を解消した一方、英国の政策が追い風になるとみてモーガン・シンドール（建設・土木）を購入しました。6月、米国では、アメリカールド・リアルティ（工業用リート）の保有を解消した一方、人口動態が追い風になるとみてウェルタワー（ヘルスケアリート）の保有を積み増したほか、アジアでは、チャーター・ホール・グループ（各種リート）から、ホンコンランド（不動産運営会社）に資産を配分しました。7月、米国では確信度を引き下げたレックスフォード・インダストリアル（工業用リート）の保有を解消し、上昇余地が相対的に大きいと判断したアメリカン・ホームズ4レント（一戸建て住宅用リート）に投資を行いました。また、欧州では、セグロ（工業用リート）を解消し、不動産運営会社のシリウス・リアル・エステートとスイス・プライム・サイトに投資したほか、アジアのエクスポージャーも調整しました。8月、健全なバランスシート等を好感し、フェデラル・リアルティ（店舗用リート）に新規投資を行いました。一方、雇用の減速がアパート賃貸に影響を及ぼすとみて、アバロンベイ（集合住宅用リート）を一部売却しました。

＜ファンドの主要投資対象におけるサステナビリティ基準適合比率について＞

ファンドの主要な投資対象ファンドである「シュローダー・インターナショナル・セレクト・ファンド グローバル・シティーズ クラスI 投資証券」は、持続可能な投資を目的としています。これは、より環境に強く、革新的な都市とインフラ・ストラクチャーに貢献する投資です。この目的を確実にするために、投資運用会社は投資対象銘柄の選択において以下のプロセスによりサステナビリティ基準を適用します。

投資可能なユニバースは2段階においてサステナビリティ指標を用いて分析され、サステナビリティ評価が低い銘柄は除外されます。

ステージ1では、都市スコアの策定を実施し、企業が所有する物件のロケーションを定量的に評価します。

投資可能なユニバースからサステナビリティ評価が低い企業は除外されます。

ステージ2では、サステナビリティ分析ツールを用いて企業を定量的に評価します。投資可能なユニバースのうち、サステナビリティ評価の相対的に低い企業は除外されます。

投資運用会社は、かかるプロセスにより、ファンドの主要な投資対象ファンドの純資産総額の90%以上の組入銘柄がサステナビリティ基準に適合することを確保します。

2025年3月22日から2025年9月22日までの報告期間中、ファンドの主要な投資対象ファンドは、上記のプロセスにより設定されたサステナビリティ基準を満たす投資可能なユニバースにのみ投資しました。

2025年9月22日現在、投資対象ファンドの純資産総額に対してシュローダーのサステナビリティ基準に適合した組入銘柄のエクスポージャーは98.4%となっています。

＜スチュワードシップ方針について＞

シュローダーは、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づく「建設的な対話」（エンゲージメント）、積極的な議決権行使などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、投資リターンの拡大を図る責任を有すると考えています。

伝統的な財務分析に加え、企業が環境、社会、ガバナンス（E S G）に関するリスクにどの程度さらされているか、また、それをどのように管理しているか、を分析することは、適正な企業価値の理解、長期的に持続可能な利益を創出する能力の見極めという観点で非常に有益だと考えています。

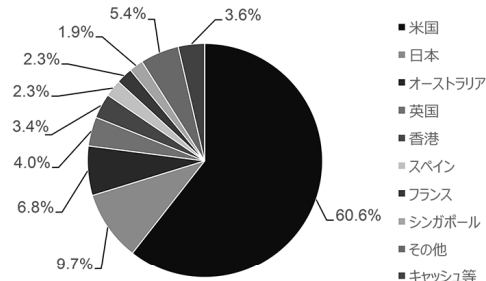
シュローダーのスチュワードシップ・コードに係わる取組み内容やエンゲージメントの実施例については、委託会社のホームページをご参照ください。

(<https://www.schroders.com/ja-jp/jp/intermediary/about-us/stewardshipcode/>)

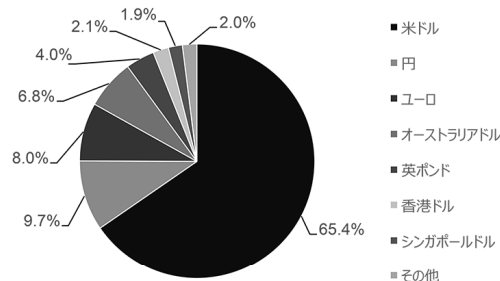
作成基準日：2025年8月29日

マザーファンドの主要投資対象である
「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ（◆）」の概要

■ 国／地域別組入比率



■ 通貨別組入比率



■ ポートフォリオの特性値

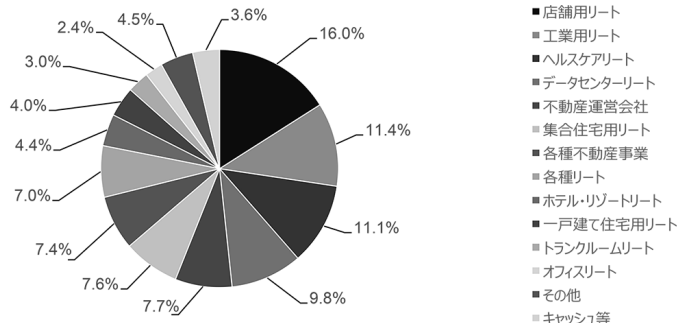
ポートフォリオ	
配当利回り	3.6%

・配当利回りは、過去1年の配当実績と株価から計算しており、上記はポートフォリオにおける平均値です。

■ 資産配分比率

	比率
リート	77.7%
株式	18.7%
キャッシュ等	3.6%
合計	100.0%

■ 業種別組入比率



※組入比率グラフについては、四捨五入により合計が100%にならないことがあります。

■ 組入上位10銘柄 （銘柄数： 59銘柄）

	銘柄名	国／地域	業種	投資比率
1	ウェルタワ－	米国	ヘルスケアリート	6.8%
2	プロロジス	米国	工業用リート	5.5%
3	エクイニクス	米国	データセンターリート	4.9%
4	デジタル・リアルティ	米国	データセンターリート	4.9%
5	リアルティ・インカム	米国	店舗用リート	4.4%
6	サイモン・プロパティ	米国	店舗用リート	4.4%
7	グッドマン	オーストラリア	工業用リート	3.1%
8	ベントス	米国	ヘルスケアリート	2.7%
9	パブリック・ストレージ	米国	トランクルームリート	2.5%
10	エクイティ・レジデンシャル	米国	集合住宅用リート	2.3%

◆「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラス投資証券」のマスターファンドを指します。
グラフや表における業種は、GICS(世界産業分類基準) の分類、国／地域別は、原則として当該銘柄が主に取引されている取引所の所在国に基づき、マスターファンドの投資運用会社が作成した分類により表記しております。なお、国／地域別、通貨別、業種別の組入比率および組入上位銘柄の各組入比率は、マスターファンドにおける純資産比です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、第47期から第51期の収益分配は見送らせていただきました。第52期は、1万口当たり課税前で50円とさせていただきます。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2025年3月22日～ 2025年4月21日	2025年4月22日～ 2025年5月20日	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日
当期分配金	—	—	—	—	—	50
（対基準価額比率）	—%	—%	—%	—%	—%	0.463%
当期の収益	—	—	—	—	—	0
当期の収益以外	—	—	—	—	—	49
翌期繰越分配対象額	986	986	986	986	986	936

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

不動産市場では、旺盛な需要の一方で供給は限定的な水準にあり、需給がひっ迫しています。このため、力強い賃料上昇を期待しています。コロナウイルス感染症拡大以降の期間、世界的なインフレに伴う資材価格の上昇や人件費の高騰、金利上昇による借り入れコストの上昇などから、新規の物件プロジェクトが減少しています。

セクター別では、データセンターにおいては、人工知能を巡る発展期待が追い風になるとみています。また、ヘルスケアセクターにおいては「高齢化」という人口動態の変化から、需要が増加すると考えます。このように、業種固有の支援材料が存在すると考えています。

当ファンドでは、当面の運用方針として競争力の高い都市に物件を持ち、サステナビリティの観点から銘柄を厳選することでポートフォリオを構築しています。また、投資銘柄の選定や配分決定プロセスにおいても、ESGの要素を考慮します。運用チームは、引き続き、不動産市場での変化のトレンドから恩恵を受けると考えられる銘柄、特にデジタル経済の台頭をサポートする銘柄を選好する方針です。運用チームは、これらのトレンドが今後も進展し、3年～5年の投資期間にわたってポートフォリオのパフォーマンスを向上させると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2025年 3 月22日～2025年 9 月22日）

項 目	第47期～第52期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	86	0.836	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(43)	(0.418)	・ ファンドの運用判断、受託会社への指図
(販 売 会 社)	(41)	(0.401)	・ 基準価額の算出ならびに公表
(受 託 会 社)	(2)	(0.017)	・ 運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
			・ 運用報告書等各種書類の交付
			・ 口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
			・ ファンドの財産保管・管理
			・ 委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	5	0.045	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.039)	・ 印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・ その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I : Legal Entity Identifier）登録費用等
合 計	91	0.881	
作成期間の平均基準価額は、10,234円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

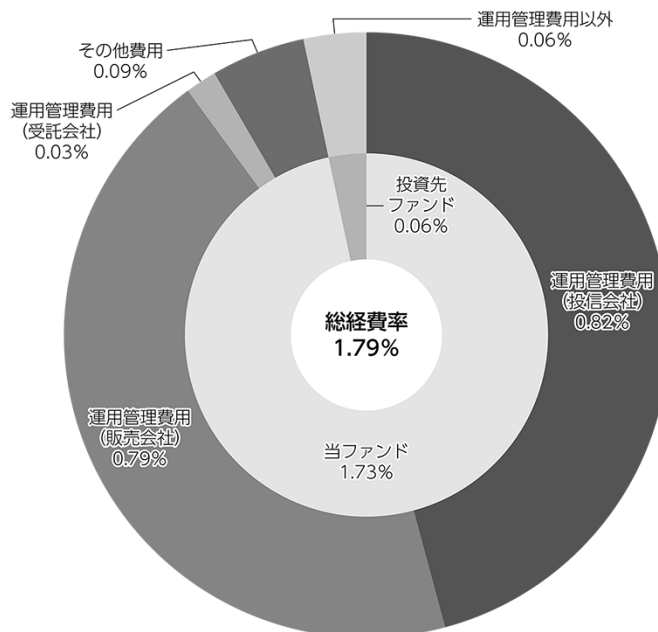
（注）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



(単位: %)

総経費率 (①+②+③)	1.79
①当ファンドの費用の比率	1.73
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年3月22日～2025年9月22日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第47期～第52期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・グローバル・リートE S Gフォーカス・マザーファンド	千口 10,914	千円 13,871	千口 286,284	千円 365,581

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年3月22日～2025年9月22日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年9月22日現在）

親投資信託残高

銘 柄	第46期末	第52期末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・グローバル・リートE S Gフォーカス・マザーファンド	千口 3,787,362	千口 3,511,992	千円 4,754,535

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2025年9月22日現在）

項 目	第52期末	
	評 価 額	比 率
シュローダー・グローバル・リートE S Gフォーカス・マザーファンド	千円 4,754,535	% 99.6
コール・ローン等、その他	17,191	0.4
投資信託財産総額	4,771,726	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。

（注）シュローダー・グローバル・リートE S Gフォーカス・マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（14,700,708千円）の投資信託財産総額（15,057,902千円）に対する比率は97.6%です。

（注）外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝148.29円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
	2025年4月21日現在	2025年5月20日現在	2025年6月20日現在	2025年7月22日現在	2025年8月20日現在	2025年9月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,382,560,243	4,695,806,219	4,690,294,033	4,725,230,130	4,697,702,647	4,771,726,775
$\text{シエロ-グロ-バル-リートESG7+α-αA-αB-7αN/ト(課税額)}$	4,363,959,435	4,693,529,998	4,688,976,967	4,720,624,609	4,682,882,388	4,754,535,557
未収入金	18,600,808	2,276,221	1,317,066	4,605,521	14,820,259	17,191,218
(B) 負債	25,351,502	8,625,654	8,159,822	11,755,291	21,342,716	46,592,627
未払収益分配金	—	—	—	—	—	21,963,317
未払解約金	18,600,808	2,276,221	1,317,066	4,605,521	14,820,259	17,191,218
未払信託報酬	6,426,646	6,027,151	6,479,974	6,773,745	6,183,657	7,061,264
その他未払費用	324,048	322,282	362,782	376,025	338,800	376,828
(C) 純資産総額(A－B)	4,357,208,741	4,687,180,565	4,682,134,211	4,713,474,839	4,676,359,931	4,725,134,148
元本	4,647,462,690	4,632,697,389	4,560,599,198	4,533,977,628	4,470,766,826	4,392,663,597
次期繰越損益金	△ 290,253,949	54,483,176	121,535,013	179,497,211	205,593,105	332,470,551
(D) 受益権総口数	4,647,462,690口	4,632,697,389口	4,560,599,198口	4,533,977,628口	4,470,766,826口	4,392,663,597口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,375円	10,118円	10,266円	10,396円	10,460円	10,757円

[元本増減－第47期から第52期]

第47期首元本額 4,696,460,626円

第47～第52期中追加設定元本額 14,196,573円

第47～第52期中一部解約元本額 317,993,602円

○損益の状況

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2025年3月22日～ 2025年4月21日	2025年4月22日～ 2025年5月20日	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△385,699,839	350,084,665	74,748,534	65,820,154	35,111,975	159,818,838
売買益	3,269,307	351,156,579	78,286,970	67,470,383	37,490,275	161,623,005
売買損	△388,969,146	△ 1,071,914	△ 3,538,436	△ 1,650,229	△ 2,378,300	△ 1,804,167
(B) 信託報酬等	△ 6,750,694	△ 6,349,433	△ 6,842,756	△ 7,149,770	△ 6,522,457	△ 7,438,092
(C) 当期損益金(A+B)	△392,450,533	343,735,232	67,905,778	58,670,384	28,589,518	152,380,746
(D) 前期繰越損益金	△186,075,194	△576,447,972	△228,981,796	△160,074,410	△ 99,945,761	△ 70,052,078
(E) 追加信託差損益金	288,271,778	287,195,916	282,611,031	280,901,237	276,949,348	272,105,200
(配当等相当額)	(256,245,556)	(255,515,221)	(251,633,268)	(250,239,923)	(246,837,650)	(242,682,284)
(売買損益相当額)	(32,026,222)	(31,680,695)	(30,977,763)	(30,661,314)	(30,111,698)	(29,422,916)
(F) 計(C+D+E)	△290,253,949	54,483,176	121,535,013	179,497,211	205,593,105	354,433,868
(G) 収益分配金	0	0	0	0	0	△ 21,963,317
次期繰越損益金(F+G)	△290,253,949	54,483,176	121,535,013	179,497,211	205,593,105	332,470,551
追加信託差損益金	288,271,778	287,195,916	282,611,031	280,901,237	276,949,348	272,105,200
(配当等相当額)	(256,245,565)	(255,515,226)	(251,633,272)	(250,239,927)	(246,837,655)	(242,682,291)
(売買損益相当額)	(32,026,213)	(31,680,690)	(30,977,759)	(30,661,310)	(30,111,693)	(29,422,909)
分配準備積立金	202,206,351	201,505,741	198,293,039	197,081,305	194,264,239	168,776,130
繰越損益金	△780,732,078	△434,218,481	△359,369,057	△298,485,331	△265,620,482	△108,410,779

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円	25,608円	17,924円	21,301円	17,109円	25,740円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	256,245,565円	255,515,226円	251,633,272円	250,239,927円	246,837,655円	242,682,291円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	202,206,351円	201,480,133円	198,275,115円	197,060,004円	194,247,130円	190,713,707円
(e) 分配対象収益(a+b+c+d)	458,451,916円	457,020,967円	449,926,311円	447,321,232円	441,101,894円	433,421,738円
(1 万 口 当 た り)	986円	986円	986円	986円	986円	986円
(f) 収 益 分 配 金 額	0円	0円	0円	0円	0円	21,963,317円
(1 万 口 当 た り)	0円	0円	0円	0円	0円	50円

○分配金のお知らせ

	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
1 万口当たり分配金（税込み）	0円	0円	0円	0円	0円	50円

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本（受益者のファンドの購入価額）と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

〈シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド 第5期〉

【計算期間 2024年9月21日から2025年9月22日まで】

信 託 期 間	無期限
決 算 日	毎年9月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主 要 投 資 対 象	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスⅠ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスⅠ投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	参 考 指 数*		投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2021年5月25日	10,000	—	583,293	—	967
1期(2021年9月21日)	10,484	4.8	610,945	97.5	11,990
2期(2022年9月20日)	11,104	5.9	666,678	97.5	20,501
3期(2023年9月20日)	11,123	0.2	661,828	97.2	20,181
4期(2024年9月20日)	13,236	19.0	784,855	97.4	18,048
5期(2025年9月22日)	13,538	2.3	808,060	97.9	15,011

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万円当たり。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) です。

※FTSE EPRA NAREIT Developed indexは、世界の上場している不動産関連株式や不動産投資信託証券のパフォーマンスに追随するよう投資可能な市場で取引されている銘柄を基準に流動性やサイズ、収益性により選別された構成銘柄からなる指数で、European Public Real Estate Association (以下、EPRA) と共にFTSE Russellにより算出されています。ロンドン証券取引所グループとそのグループ企業*が本指数のライセンサーです (*FTSE International Limited (LSEグループ)、EPRA、the National Association of Real Estate Investments Trusts (NAREIT) を含みます)。

FTSE RussellはLSEグループ企業の商標です。FTSEとRussellは関連するLSEグループ企業の登録商標、NAREITはNAREITの登録商標、EPRAはEPRAの登録商標で、それぞれ許可を受けた他のLSEグループ企業によって使われ、関連指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はライセンサーに帰属しております。ライセンサーは指数データまたは内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わず、本ファンドへの投資を促進、保証または推奨するものではありません。関係するLSEグループ企業の書面による同意がない限り、LSEグループ企業が提供する指数データの再配布は禁じられております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 数※	騰 落 率	投 資 信 託 組 入 比 率
(期 首) 2024年 9 月20日	円 13,236	% —	784,855	% —	% 97.4
9 月末	13,253	0.1	787,734	0.4	98.5
10月末	13,831	4.5	817,561	4.2	98.5
11月末	13,598	2.7	810,543	3.3	98.0
12月末	13,355	0.9	787,629	0.4	97.4
2025年 1 月末	13,162	△0.6	783,731	△0.1	98.4
2 月末	13,038	△1.5	773,415	△1.5	98.7
3 月末	12,659	△4.4	755,990	△3.7	98.2
4 月末	12,099	△8.6	722,218	△8.0	98.0
5 月末	12,528	△5.3	751,983	△4.2	98.0
6 月末	12,715	△3.9	762,119	△2.9	98.2
7 月末	13,260	0.2	789,904	0.6	98.9
8 月末	13,307	0.5	797,900	1.7	98.5
(期 末) 2025年 9 月22日	13,538	2.3	808,060	3.0	97.9

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 騰落率は期首比。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) です。

※FTSE EPRA NAREIT Developed indexは、世界の上場している不動産関連株式や不動産投資信託証券のパフォーマンスに追随するよう投資可能な市場で取引されている銘柄を基準に流動性やサイズ、収益性により選別された構成銘柄からなる指数で、European Public Real Estate Association (以下、EPRA) と共にFTSE Russellにより算出されています。ロンドン証券取引所グループとそのグループ企業*が本指数のライセンサーです (*FTSE International Limited (LSEグループ)、EPRA、the National Association of Real Estate Investments Trusts (NAREIT) を含みます)。

FTSE RussellはLSEグループ企業の商標です。FTSEとRussellは関連するLSEグループ企業の登録商標、NAREITはNAREITの登録商標、EPRAはEPRAの登録商標で、それぞれ許可を受けた他のLSEグループ企業によって使われ、関連指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はライセンサーに帰属しております。ライセンサーは指数データまたは内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わず、本ファンドへの投資を促進、保証または推奨するものではありません。関係するLSEグループ企業の書面による同意がない限り、LSEグループ企業が提供する指数データの再配布は禁じられております。

○運用経過

(2024年9月21日～2025年9月22日)

期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、期首(2024年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 当ファンドの参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) です。

○基準価額の主な変動要因

期首13,236円でスタートした基準価額は、13,538円で期末を迎え、期首比2.3%の上昇となりました。一方、参考指数であるFTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) は、3.0%の上昇で、当ファンドは、参考指数を0.7%下回りました。

当期、ファンドのリターンは小幅なプラスとなりました。国別では、主に日本やフランス等への配分が上昇要因となった一方、米国への配分等が下落要因となりました。セクター別では、各種不動産事業などへの配分が主な上昇要因となった一方、不動産開発等への配分は振るいませんでした。そのほか、円が対米ドルで下落したことは、基準価額を押し上げる要因となりました。

投資環境

当期、世界の不動産株式およびリート市場は、前期末比ほぼ横ばいの水準で期を終えました。当期初から2025年1月初旬にかけては、下落基調を辿りました。堅調な米国経済指標の発表のほか、トランプ氏が掲げる政策がインフレ圧力を招くとの懸念から、米連邦準備制度理事会（F R B）の2025年金融政策見通しを巡る不確実性が高まったことで米国長期金利が上昇したこと等がマイナス要因となりました。その後、中国の新興企業DeepSeekが低コスト人工知能（A I）を開発したと報道されたこと等を背景に一部の米国大型ハイテク銘柄の上昇が一服し、その他の市場が相対的に優位に展開する中、上昇基調に転じました。2月は、米国長期金利が低下したこと等が追い風となりましたが、3月は、米国の通商政策が世界経済に与える影響が懸念される中、投資家のリスク回避姿勢が強まりました。4月初旬には、トランプ米大統領が「解放の日」に相互関税を発表したことを受けて金融市場のボラティリティ（変動性）が大きく高まり下落する局面がありましたが、その後、同氏が報復措置を講じていない国・地域に対して相互関税の一時停止を発表したことで反発に転じました。5月には米国と中国が関税率一時大幅引き下げで合意したことも追い風となりました。その後も、米国と各国の貿易協議が進展する中、米国金融当局による利下げ期待（9月の会合で政策金利の引き下げを決定）等が支援材料となり、上昇基調を維持して期を終えました。

米ドル円レートについては、当期初から2025年1月初旬にかけて円は対米ドルで下落しましたが、その後は日本銀行の利上げ観測が広がり日本の長期金利が上昇する中、円高基調に転じました。また、相互関税の発表を受けて投資家のリスク選好姿勢が弱まり、4月にさらに円高が進行しました。その後は、米国の関税政策を巡る不確実性が減退したことや一部の米国経済指標が市場予想を上回ったこと等から円は対米ドルで下落し、四半期ベースでは円は対米ドルで弱含みました。

当ファンドのポートフォリオ

2024年9月、10月に、相対的なバリュエーション（価値評価）妙味から、工業用リートではテレノ・リアルティを売却しアメリカールド・リアルティに投資を行ったほか、日本ではヒューリック（各種リート）から日本アコモデーション（集合住宅用リート）に入れ替えました。11月、12月に、セグロ（工業用リート）を一部売却し、ユニベイル・ロダムコ・ウェストフィールド（店舗用リート）に追加投資したほか、住宅関連銘柄のエクスポージャーを調整しました。2025年1月、貸倉庫の需給懸念からキューブスマート（トランクルームリート）を一部売却しました。また、1月から3月に、アジアや英国のエクスポージャーを調整しました。3月から4月に、店舗用リートでリージェンシー・センターズからリアルティ・インカムに資産を入れ替えました。4月中にはそのほか、米国やアジアでもエクスポージャーを調整しました。5月、キューブスマートの保有を解消し、英国政策が追い風になるとみてモーガン・シンドル（建設・土木）を購入しました。6月、米国でアメリカールド・リアルティ（工業用リート）を売却した一方、人口動態が追い風になるとみてウェルタワ（ヘルスケアリート）に追加投資したほか、アジアでは、チャーター・ホール・グループ（各種リート）からホンコンランド（不動産運営会社）に資産を分配しました。7月、レックスフォード・インダストリアル（工業用リート）の保有を解消し、アメリカン・ホームズ4レント（一戸建て住宅用リート）に投資したほか、欧州やアジアのエクスポージャーも調整しました。8月、健全なバランスシート等を評価しフェデラル・リアルティ（店舗用リート）に投資した一方、雇用減速がアパート賃貸に影響を及ぼすとみてアパロンベイ（集合住宅用リート）を一部売却しました。

＜ファンドの主要投資対象におけるサステナビリティ基準適合比率について＞

ファンドの主要な投資対象ファンドである「シュローダー・インターナショナル・セレクト・ファンド グローバル・シティーズ クラスI 投資証券」は、持続可能な投資を目的としています。これは、より環境に強く、革新的な都市とインフラ・ストラクチャーに貢献する投資です。この目的を確実にするために、投資運用会社は投資対象銘柄の選択において以下のプロセスによりサステナビリティ基準を適用します。

投資可能なユニバースは2段階においてサステナビリティ指標を用いて分析され、サステナビリティ評価が低い銘柄は除外されます。

ステージ1では、都市スコアの策定を実施し、企業が所有する物件のロケーションを定量的に評価します。

投資可能なユニバースからサステナビリティ評価が低い企業は除外されます。

ステージ2では、サステナビリティ分析ツールを用いて企業を定量的に評価します。投資可能なユニバースのうち、サステナビリティ評価の相対的に低い企業は除外されます。

投資運用会社は、かかるプロセスにより、ファンドの主要な投資対象ファンドの純資産総額90%以上の組入銘柄がサステナビリティ基準に適合することを確保します。

2024年9月21日から2025年9月22日までの報告期間中、ファンドの主要な投資対象ファンドは、上記のプロセスにより設定されたサステナビリティ基準を満たす投資可能なユニバースにのみ投資しました。

2025年9月22日現在、投資対象ファンドの純資産総額に対してシュローダーのサステナビリティ基準に適合した組入銘柄のエクスポージャーは98.4%となっています。

＜スチュワードシップ方針について＞

シュローダーは、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づく「建設的な対話」（エンゲージメント）、積極的な議決権行使などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、投資リターンの拡大を図る責任を有すると考えています。

伝統的な財務分析に加え、企業が環境、社会、ガバナンス（ESG）に関するリスクにどの程度さらされているか、また、それをどのように管理しているか、を分析することは、適正な企業価値の理解、長期的に持続可能な利益を創出する能力の見極めという観点で非常に有益だと考えています。

シュローダーのスチュワードシップ・コードに係わる取組み内容やエンゲージメントの実施例については、委託会社のホームページをご参照ください。

(<https://www.schroders.com/ja-jp/jp/intermediary/about-us/stewardshipcode/>)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークは設けておりません。

○今後の運用方針

不動産市場では、旺盛な需要の一方で供給は限定的な水準にあり、需給がひっ迫しています。このため、力強い賃料上昇を期待しています。コロナウイルス感染症拡大以降の期間、世界的なインフレに伴う資材価格の上昇や人件費の高騰、金利上昇による借り入れコストの上昇などから、新規の物件プロジェクトが減少しています。

セクター別では、データセンターにおいては、人工知能を巡る発展期待が追い風になるとみえています。また、ヘルスケアセクターにおいては「高齢化」という人口動態の変化から需要が増加するとみえています。このように、業種固有の支援材料が存在すると考えます。

当ファンドでは、当面の運用方針として競争力の高い都市に物件を持ち、サステナビリティの観点から銘柄を厳選することでポートフォリオを構築しています。また、投資銘柄の選定や配分決定プロセスにおいても、E S G の要素を考慮します。運用チームは、引き続き、不動産市場での変化のトレンドから恩恵を受けると考えられる銘柄、特にデジタル経済の台頭をサポートする銘柄を選好する方針です。運用チームは、これらのトレンドが今後も進展し、3年～5年の投資期間にわたってポートフォリオのパフォーマンスを向上させると考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2024年9月21日～2025年9月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I : Legal Entity Identifier）登録費用等
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、13,067円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年9月21日～2025年9月22日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドグローバル・シティーズ クラスI	5,256	1,339	85,075	22,646

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月21日～2025年9月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年9月22日現在)

外国投資信託証券

銘 柄		期首(前期末)		当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドドル・リクイディティ クラスI		1	1	0.137	20	0.0
シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンドグローバル・シティーズ クラスI		435,009	355,191	99,132	14,700,323	97.9
合 計	口 数 ・ 金 額	435,010	355,192	99,132	14,700,343	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<97.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2025年9月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	14,700,343	97.6
コール・ローン等、その他	357,559	2.4
投資信託財産総額	15,057,902	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産（14,700,708千円）の投資信託財産総額（15,057,902千円）に対する比率は97.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝148.29円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,057,902,705
コール・ローン等	357,555,486
投資証券(評価額)	14,700,343,794
未収利息	3,425
(B) 負債	46,626,109
未払解約金	46,626,109
(C) 純資産総額(A－B)	15,011,276,596
元本	11,088,385,964
次期繰越損益金	3,922,890,632
(D) 受益権総口数	11,088,385,964口
1万口当たり基準価額(C／D)	13,538円

[元本増減]

期首元本額	13,636,110,670円
期中追加設定元本額	289,227,776円
期中一部解約元本額	2,836,952,482円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(資産成長型)	7,576,393,382円
シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(予想分配金提示型)	3,511,992,582円

○損益の状況

(2024年9月21日～2025年9月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	801,428
受取利息	801,428
(B) 有価証券売買損益	310,959,905
売買益	722,431,930
売買損	△ 411,472,025
(C) 保管費用等	△ 50,948
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	311,710,385
(E) 前期繰越損益金	4,412,212,643
(F) 追加信託差損益金	90,570,486
(G) 解約差損益金	△ 891,602,882
(H) 計(D＋E＋F＋G)	3,922,890,632
次期繰越損益金(H)	3,922,890,632

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考>マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でシュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンドが保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュローダー・インターナショナル・セレクト・ファン ド グローバル・シティーズ クラス I 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主 な 投 資 対 象	投資運用会社がサステナブルな投資先であるとする世界の不動産関連株式および株式関連証券	
運 用 の 基 本 方 針 および主な投資制限	投資運用会社がサステナブルな投資先であるとする世界の不動産関連株式および株式関連証券への投資を通じて元本成長とFTSE EPRA NAREIT Developed index（税控除後配当込み、米ドルベース）を中長期で上回る（費用控除後）収益確保を目指します。 ※ 欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。 ■ ファンドはアクティブ運用され、強じんて革新的な都市やインフラストラクチャーに貢献するサステナブル投資に振り向けます。また、短期金融資産への投資や現金の保有のほか、リスクの抑制および資産の効率的な運用のためのデリバティブ取引など、投資運用会社がサステナビリティ基準に基づいて中立であるとみなした投資を行います。 ■ ファンドは投資運用会社のウェブページ（https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/fund-centre）に掲げる「サステナビリティ関連開示」に記載される上限を超えて特定の活動、業界または発行体グループへの直接投資は行いません。 ■ ファンドは投資運用会社の投資基準に定められた通り、環境や社会に重大な悪影響を与えず優れたガバナンスを実践する企業に投資します。 ■ 投資運用会社はファンドが行なうサステナビリティ問題に関する弱点分野を特定する試みに対して投資対象企業と建設的な対話をすることもあります。投資運用会社のサステナビリティや投資対象会社との建設的な対話の方法に關しての詳細は投資運用会社のウェブページ（https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/what-we-do/sustainable-investing/our-sustainable-investment-policies-disclosures-voting-reports/disclosures-and-statements/）で入手可能です。 ■ ファンドはその資産の2/3以上を世界の不動産関連株式および株式関連証券へ投資し、強固な都市インフラストラクチャーや開発計画支援体制により経済的成長を続けると投資運用会社が考える都市に投資する企業を中心に投資を行います。 ■ ファンドは純資産の1/3以下の範囲で、直接または間接的に世界の不動産関連株式や株式関連証券以外の投資証券（他の資産クラスを含む）、国、地域、業種、通貨、投資ファンド、ワラント債、短期金融商品に投資し、現金を保有することがあります。 ■ リスクの抑制および資産の効率的な運用のためデリバティブ取引を行うことがあります。	
投 資 運 用 報 酬	ありません。	
管 理 報 酬 等	ファンドの純資産総額に対して年率0.06%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決 算 日	12月31日	
設 定 日	2005年10月31日	
ファンドの関係法人	管 理 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投 資 運 用 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保 管 会 社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

※投資対象ファンドであるSISF グローバル・シティーズ クラス I 投資証券（ファンド）は持続可能な投資を行うという投資目的（欧州サステナブル投資開示規則9条：Article 9 SFDR）を有します。この投資目的を有するファンドは、その結果として一部の企業、業界、セクターに対するエクスポージャーが限られる可能性があり、投資運用会社により選定されたサステナビリティ基準に合致しない一定の投資機会を見送ったり、特定の保有銘柄を処分する可能性があります。持続可能な投資の構成について投資者間で異なる見解を有する可能性があるため、ファンドは特定の投資者の信念および価値を反映しない企業にも投資する可能性があります。

（注）以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・シティーズ

Statement of Operations for the Year Ended
31 December 2024

Schroder ISF Global Cities
USD

NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEARS	670,240,273
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	17,665,442
Interest income from investments, net of withholding taxes	-
Interest on swap contracts	-
Bank interest	451,433
TOTAL INCOME	18,116,875
EXPENSES	
Management fees	3,495,154
Administration fees	754,584
Taxe d'abonnement	184,450
Depository fees	62,742
Distribution fees	165,300
Bank and other interest expenses	-
Interest on swap contracts	-
Operating expenses	132,376
TOTAL EXPENSES	4,794,606
Less: Expense subsidy	-
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	13,322,269
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	4,543,862
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	(5,213,040)
Swaps contracts	-
Currency exchange	(161,933)
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	(831,111)
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(12,008,806)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	(805,649)
Swaps contracts	-
Currency exchange	(8,057)
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	(12,822,512)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	(331,354)
Subscriptions	171,863,429
Redemptions	(235,481,151)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	(63,617,722)
Dividend distributions	(680,807)
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	605,610,390

【上位10銘柄】

(2024年12月31日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率 (%)
1	エクイニクス	米国	データセンターリート	6.1
2	デジタル・リアルティ	米国	データセンターリート	5.9
3	サイモン・プロパティ	米国	店舗用リート	4.3
4	プロロジス	米国	工業用リート	4.1
5	ベントス	米国	ヘルスケアリート	3.3
6	ウェルタワー	米国	ヘルスケアリート	3.3
7	アパロンベイ・コミュニティーズ	米国	集合住宅用リート	3.2
8	エクイティ・レジデンシャル	米国	集合住宅用リート	2.9
9	パブリック・ストレージ	米国	トランクルームリート	2.7
10	ヴォノヴィア	ドイツ	不動産運営会社	2.4
銘柄数				59

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI投資証券」の運用状況

〈ファンドの概要〉

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	米ドル建ての短期金融資産	
運用の基本方針および主な投資制限	ファンドはアクティブ運用され、主として米ドル建ての短期金融資産（S&Pグローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上）への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること（付随する金融商品を検討にのける）、もしくは採用金利が少なくとも市場にのいて年次で調整され残存期間が2年以内であるものを前提とします。 ※元本の保全と流動性の確保を保障するものではありません。 ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。 ■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。 ■現金を保有し、金融機関へ預金することがあります。	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2002年7月4日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

（注）以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

（注）以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ

Statement of Operations for the Year Ended
31 December 2024

Schroder ISF US Dollar
Liquidity
USD

NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR \$	533,866,771
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	-
Interest income from investments, net of withholding taxes	25,141,528
Interest on swap contracts	-
Bank interest	2,332,145
TOTAL INCOME	27,473,673
EXPENSES	
Management fees	739,831
Administration fees	249,387
Taxe d'abonnement	51,655
Depository fees	28,402
Distribution fees	-
Bank and other interest expenses	-
Interest on swap contracts	-
Operating expenses	103,681
TOTAL EXPENSES	1,172,956
Less: Expense subsidy	-
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	26,300,717
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	45,795
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	(68)
Swaps contracts	-
Currency exchange	(82,485)
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	(36,758)
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(245,348)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	(25)
Swaps contracts	-
Currency exchange	(5)
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	(245,378)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	26,018,581
Subscriptions	388,362,093
Redemptions	(365,685,055)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	22,677,038
Dividend distributions	-
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	582,562,390

Portfolio of Investments of the Year Ended 31 December 2024

Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets
Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market				
Bonds				
Financials				
US Treasury Bill 0% 02/01/2025	USD	37,240,000	37,240,000	6.39
US Treasury Bill 0% 07/01/2025	USD	46,651,000	46,624,176	8.00
US Treasury Bill 0% 13/02/2025	USD	37,251,000	37,066,161	6.36
US Treasury Bill 0% 27/02/2025	USD	37,519,000	37,273,041	6.40
US Treasury Bill 0% 13/03/2025	USD	38,000,000	37,690,932	6.47
US Treasury Bill 0% 03/04/2025	USD	39,636,000	39,215,699	6.73
US Treasury Bill 0% 24/04/2025	USD	40,011,000	39,492,469	6.78
US Treasury Bill 0% 29/05/2025	USD	35,535,000	34,932,467	6.00
			309,534,945	53.13
Total Bonds			309,534,945	53.13
Commercial Papers				
Financials				
Banco Santander SA 0% 03/06/2025	USD	25,000,000	24,523,313	4.21
DNB Bank ASA 0% 15/01/2025	USD	25,000,000	24,955,187	4.28
Lloyds Bank plc 0% 21/04/2025	USD	25,000,000	24,657,765	4.23
Mizuho Bank Ltd. 0% 09/06/2025	USD	25,000,000	24,505,926	4.21
Royal Bank of Canada 0% 25/02/2025	USD	25,000,000	24,828,604	4.26
Royal Bank of Canada 0% 04/06/2025	USD	22,000,000	21,585,906	3.71
Santander UK plc 0% 05/02/2025	USD	25,000,000	24,890,900	4.27
Standard Chartered Bank 0% 10/06/2025	USD	25,000,000	24,501,344	4.21
Toronto-Dominion Bank (The) 0% 10/04/2025	USD	25,000,000	24,690,694	4.24
			219,139,639	37.62
Total Commercial Papers			219,139,639	37.62
Total Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market			528,674,584	90.75
Total Investments			528,674,584	90.75
Cash			54,138,089	9.29
Other assets/(liabilities)			(250,283)	(0.04)
Total Net Assets			582,562,390	100.00